

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [20] 東京都台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2) 類似施設の管理実績	やなか・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入2,679,635,858円, 歳出2,542,831,771円, 収支差額13,680,487円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区浅草4-26-2
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 4,588.35㎡の内517.99㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階地下1階のうち5階の一部
(6) 人員体制	15名 内訳…介護職員（常勤5、非常勤8）、看護職員（常勤1、非常勤1）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般デイ：40名、認知症対応デイ：12名）
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料（22年度から）	10,877,000	13,082,000	7,306,000	1,876,000	3,046,000
	料金収入等	124,727,000	121,131,000	118,329,000	125,900,000	112,402,000
	管理経費	135,604,000	134,213,000	125,635,000	127,776,000	115,448,000
決算	委託料（22年度から）	0	6,166,969	7,306,000	1,876,000	3,045,350
	料金収入等	125,322,821	134,347,712	130,842,122	131,019,086	175,591,462
	管理経費	115,127,790	122,786,980	124,505,183	116,339,495	146,416,328
	収支	10,195,031	17,727,701	13,642,939	16,555,591	32,220,484

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数	日	311	311	311	311
定員（一般デイ）	人	40	40	40	40
定員（認知デイ）	人	12	12	12	12

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値（24年度）	20年度	21年度	22年度
利用率（一般デイ）	%	89.0	86.3	82.8	87.4
利用率（認知デイ）	%	83.0	81.9	77.6	82.2

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

利用率向上に努力し、料金収入が大幅に増収となった。今後も引き続き経費の節減に向けた取組みを進めていく。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費縮減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	利用者のニーズに応じたサービスの提供など、適切な事業運営がなされている。人員基準以上の職員配置や認知症ケアに関する研修会及び街づくり懇談会の定期実施などにより、サービスの向上に努めている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理について、全体的に適切に実施されている。
(3) 利用者の満足度	A	利用率が一般デイ、認知デイ共に増加し、利用者の満足度調査においても概ね高評価を得ている。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。利用率の増加により料金収入は増収となったが、運営経費の縮減に努める必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

施設の管理については、全体的に良好である。今後も利用率の維持に努めながら、引き続きサービスの向上に努めていく必要がある。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

利用者のニーズに応じたサービスを提供し、施設の運営についても適切に実施されている。また、施設内外での研修の受講などにより積極的な教育を実施し、サービス水準の向上に努めている。今後も利用者から高い評価を得られる施設運営を目指すとともに、利用率の維持と運営経費の更なる削減を図っていくなどの経営努力を継続していく必要がある。